



柏葉



第18号

令和 3年 8月27日(金)

福島県白河市立東北中学校

発行責任者 校長 渡邊 泰昌

「自分の未来を切り拓け！」

東西しらかわ英語弁論大会

～ すばらしい発表でした ～



3年2組 金澤 倅二郎 さん

8月26日(木)白河市東文化センターにおいて、東西しらかわ中学校英語弁論大会が催されました。18校の中学校から51名の生徒がエントリーされ、暗唱の部と創作の部に分かれて、練習の成果を発表しました。

金澤倅二郎さんは、「蜘蛛の糸」(The Spider's Thread) 皆さんもご存じの通り、芥川龍之介が書いた短編小説です。倅二郎さんは、カンダタ(主人公)が蜘蛛の糸を登って地獄から出ようとしているとき、同じ糸を上ってきた人たちを排除しようとしたとき、糸はカンダタの真上の部分で切れ、再び地獄に落ちてしまった様子を情景豊かに英語で発表しました。

渡邊有保さんは、自分で作った作文を英語に直して発表するという創作の部に出場しました。題名は「私を変えた弟」(The Brother that Changed Me)です。有保さんは、最初に「あなたのモットーはありますか」という問いかけに最初は答えられませんでした。中学2年生の時に、自分の夢に向かってひたむきに努力している弟から「努力は裏切らない」という言葉を教えてもらいました。そして今では世界に羽ばたきたい夢を持つことができました。この経験から「間違いを恐れて何もしなければチャンスはやってこない」ということをモットーにすることができたことを力強く英語で発表しました。



3年2組 渡邊 有保 さん



2年1組 石川 陽菜 さん

石川陽菜さんは、暗唱の部に出場しました。題名は「ゾルバの約束」(Zorba's Promise)です。話の内容は、突然、猫のゾルバの隣に油まみれになったカモメが舞い降り、「私の卵を世話して私の赤ちゃんに飛ぶことを教えてください」と言って、卵を産み死んでしまいます。育てることを約束した猫のゾルバは、カモメの赤ちゃん(ラッキー)を立派に育て、飛ぶ勇気を与えます。そして、立派に巣立っていく物語を大きな手の振りや表情を使って聞き手の心に伝わる英語弁論を行いました。3人の皆さんのこれまでの努力を大いに讃えたいと思います。他の生徒の皆さんも興味がある人はぜひチャレンジしてみてください。